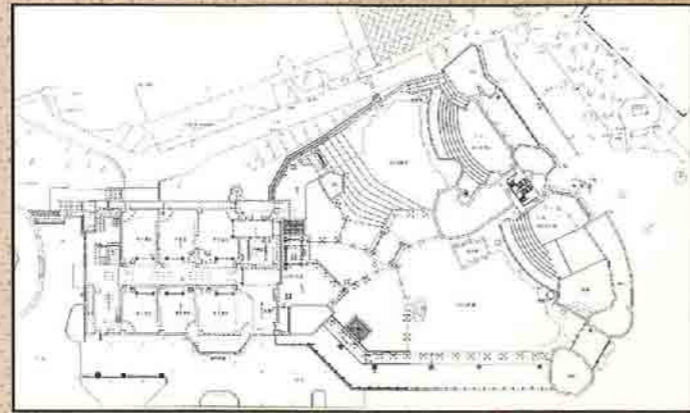




施設概要

平面図



ゾウ舎完成図



- 動物舎■ RC構造 地上2階地下1階、
建築面積約735㎡
(ゾウ寝室5部屋、予備飼育室1室)
延床面積約1,330㎡
- 放飼場■ 面積約2,170㎡
放飼場、プール、植栽地、スクリーン室、観覧室、タッチコーナー
- 付帯設備■ 太陽光発電設備、雨水利用設備

東京都恩賜上野動物園 ☎ 3828-5171

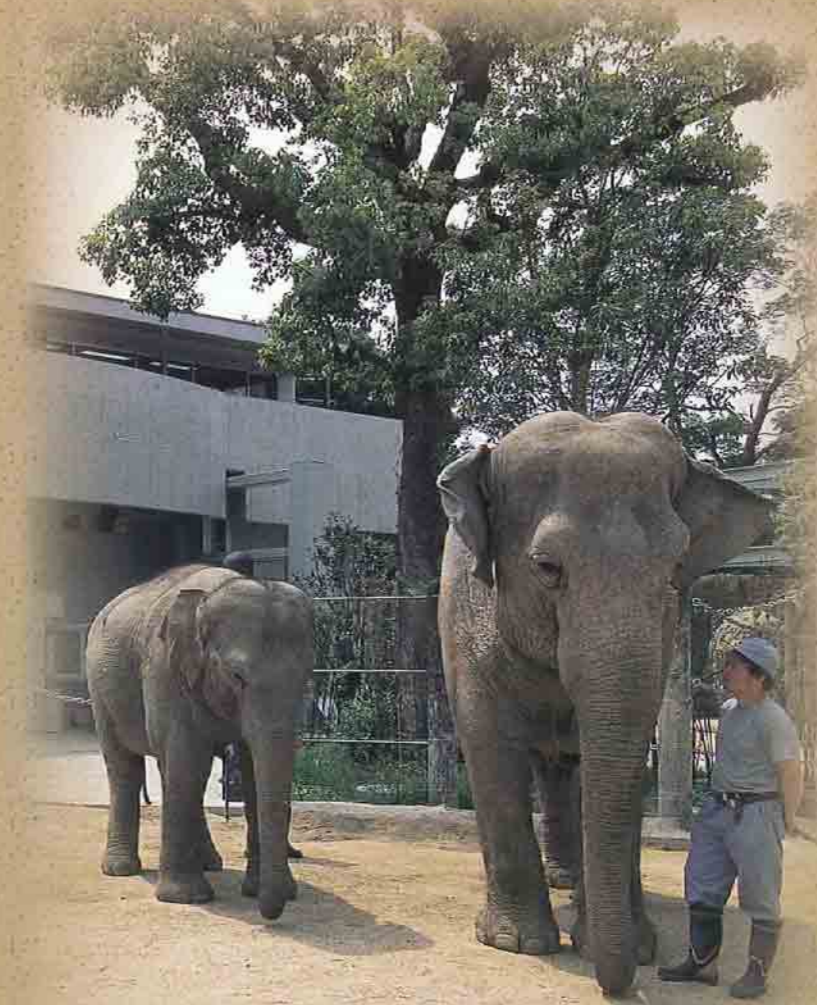
開館時間：午前9時30分～午後5時（入園は閉園1時間前まで）
休園日：毎週月曜日（祝日、都民の日にあたる場合は翌日が休園）
入園料：小学生以下：無料
中学生：200円（都内在住、在学の場合は無料）
大人（高校生以上）：600円
65歳以上：300円

<http://www.kensetsu.metro.tokyo.jp/zoo/ueno>
<http://www.tokyo-zoo.net/>



新ゾウ舎

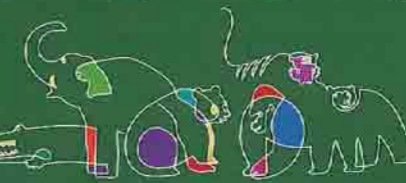
平成16年完成



このゾウ舎は宝くじの普及宣伝
事業として整備されたものです

2100
東京動物園協会 共同事業

ueno
ZOO



ゾウ舎が できるまで

新しいゾウ舎は、平成14年度、15年度の2ヵ年かけて建設されました。それは人気のあるゾウをできるだけ展示しながら建設するためです。

平成14年度は旧放飼場を壊し、ゾウを収容するゾウ舎と小さい放飼場をつくりました。平成15年度は旧ゾウ舎を壊して新しい放飼場をつくりました。



壊される前の旧ゾウ舎

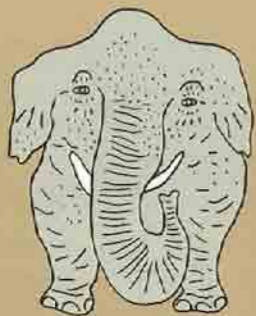


解体中のゾウ舎



新しくなったゾウ舎

新しくなったゾウ舎へようこそ！



新しくなったゾウ舎は、予備室も含めて6室あり、繁殖などにより新しい個体が増えても十分対応できます。また、放飼場はインドや東南アジアの森で生活するゾウの自然な姿を見もらうために土や植物をふんだんに使用しています。水浴びが好きでプールに入ることが多いゾウを身近にみせる工夫もされています。そして繁殖をめざすためにオスゾウとメスゾウが自然に出会える場所もつくりました。



新ゾウ舎の特徴 1

豊かな緑と土（放飼場はコンクリートから土へ）
今までの放飼場はコンクリートでできていました。新しいゾウ舎では自然環境を再現した展示の工夫をしています。そのため、土や植物をふんだんに取り入れました。



新ゾウ舎の特徴 2

環境にやさしい施設（太陽光発電と雨水の利用）
動物園はできるだけ地球環境にやさしい施設にする必要があります。新しいゾウ舎の屋上には太陽光発電の設備を設けました。天気の良い日は蛍光灯を50本くらいつける能力があります。
もう一つは雨水を地下に貯めておくタンクを設置したことです。貯められた雨水は掃除や植物に利用します。



室内の様子を見ることが出来ます



ゾウに関するクイズ



ゾウの体



牙のレプリカ

こんなものもあるよ！

今回の整備ではゾウをより深く知ってもらえるように、さまざまなサインを用意しました。そのいくつかを紹介します。

新ゾウ舎の特徴 3

より近くで…（モートの廃止）
動物と観客をへだてる方法はたくさんありますが、今までのゾウ舎はモート（堀）で隔てていました。新しいゾウ舎ではゾウをより近くで見られるようにこのモートを廃止しました。
ゾウの大きさを少しでも感じてください。



ゾウの紹介



アーシャー（メス）
出生地 **インド**
（ダヤーと一緒に来園しました）
生年月日
推定1977年生まれ
来園年月日
1984年9月20日



ダヤー（メス）
出生地 **インド**
（アーシャーと一緒に来園しました）
生年月日
推定1977年生まれ
来園年月日
1984年9月20日



スーリヤ（メス）
出生地 **インド**
生年月日
推定1994年生まれ
来園年月日
2001年4月5日



アティ（オス）
出生地 **タイ**
（ウタイと一緒に来園しました）
生年月日
推定1996年生まれ
来園年月日
2002年10月11日



ウタイ（メス）
出生地 **タイ**
（アティと一緒に来園しました）
生年月日
推定1998年生まれ
来園年月日
2002年10月11日